

【技術の名称】 大林組WJ目粗し接合法 －既存躯体接合面をウォータージェットで目粗しした耐震改修用接合法－（改定2）	性能証明番号：GBRC 性能証明 第12-12号 改2 性能証明発効日：2016年8月16日
	【取得者】 株式会社 大林組

【技術の概要】

本技術は、耐震補強工事の既存躯体と補強部材との間接接合部において、既存躯体面をウォータージェット工法を用いて目粗しし、一体性を向上させた場合における接合部の設計法と、その施工方法に関するものである。本技術は建物の外側耐震補強工法のうち直付け工法または内付け増設補強壁における接合部を対象とする。

【改定の内容】

- 新規：GBRC 性能証明 第12-12号（2012年7月23日）
改定1：GBRC 性能証明 第12-12号 改（2013年4月9日）
- ・内付け増設補強壁における接合部を適用可とし、接合部に対する設計方法を追加
 - ・補強工事の施工会社に、(株)大林組のグループ会社を追加
- 改定2：GBRC 性能証明 第12-12号 改2（2016年8月16日）
- ・内付け増設補強壁において、目粗し接合面のせん断耐力に考慮できるあと施工アンカー筋比の最大値を1.2%に拡大

【技術開発の趣旨】

ウォータージェット工法により目粗しした接合面のせん断耐力式を確立し、施工現場で十分な目粗し深さ管理を行うことで、従来のあと施工アンカーのせん断耐力に基づく耐力式と比べ、接合面に打設するあと施工アンカー筋量の削減が可能となる。これにより、工事の際に問題となる騒音や振動の発生を抑えることを意図して開発されたものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。
申込者が提案する「大林組 WJ 目粗し接合法 設計施工要領書」に従って設計・施工・管理された既存躯体と補強部材の接合部は、同要領書に定めるせん断耐力を有する。

○本工法の特徴

ウォータージェットの流体条件（圧力、流量）、ノズルの回転や移動速度等を管理することで、接合部を目的の粗さに処理し、レーザーによる光学的計測と基準標本による比較により粗さを管理する。接合部せん断強度として、かみ合い耐力を定量化したせん断耐力を用いる。かみ合い耐力の抵抗機構は、骨材の凹凸とアンカー筋の引張力による接合部の押えこみと固着耐力の累加による。



ウォータージェット工法を用いた接合部（外付け補強時）



ウォータージェット工法を用いた接合部（内付け補強時）



レーザー変位計による計測状況

【本技術の問合せ先】

株式会社大林組技術研究所 担当者：栗田康平
〒204-8558 東京都清瀬市下清戸 4-640

E-mail：kurita.kohei@obayashi.co.jp
TEL：042-495-1013 FAX：042-495-0904